

毎週日曜発行
2023 4/16

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

きょうのテーマ

卵の値上がり、どうして？

ニュース



値上がりする卵のパックを並(なら)べる店員
= 仙台市宮城野区のみやぎ生協幸町店

日ごろの食事やお弁当のおかずには欠かせない卵が値上がりしているよ。卵を使ったメニューを休止する店も出ています。卵が高くなった背景を取材しました。

農林水産省の調査で

は、卵1パック(10個入り)の全国平均小売価格は上がり続けていて、ラフ、今年3月は288円。前年同月の1.1倍、過去5年の平均と比べると1.35倍になっています。

みやぎ生協商品店舗本部バイヤーの安田英祐さんは「卵や牛乳はお客さんを呼ぶ効果が大きく、売る側は値上げしたくない。生産者側も値上げをずっと我慢してき

鳥インフルで品不足に

卵1パック(10個入り)の平均小売価格

(農林水産省・食品価格動向調査)



た」と解説します。



生産者でつくる宮城県養鶏協会の山田稲生常務理事は「ロシアによるウクライナ侵攻の影響で、鶏のえさの原料となるトウモロコシの価格が上昇。そこに鳥インフルエンザが追い打ちをかけた」と指摘します。

昨年の秋から鳥インフルエンザが全国的に流行。鳥インフルエンザの感染が分かれると、同じ施設で飼育されている鶏は感染拡大を防ぐため全て殺処分されます。

今シーズンに殺処分さ

れた鶏は全国で約1700万羽で、採卵のために飼われている鶏の1割以上。山田常務理事は「卵を産む鶏が減ったので、出荷される卵も少ない。需要に対して供給が足りないのです、当然価格が上がる」と話します。



生産量が元に戻るには時間がかかります。鳥インフルエンザが発生した施設を再開するには、消毒や試験飼育などのステップを踏む必要があります。早くても6カ月後です。

みやぎ生協の安田さんは「プリンやレトルト食品などで卵を使う商品の生産も止まっている。生産量が徐々に回復しても需要に追い付かない。今年いっぱい高値が続くのではないかと分析しています。

値上がり傾向だったところに鳥インフルエンザが直撃したんだね。買い物に行ったら値段に関心を持ってみて。

今週の注目ニュース

◇17日(月) 恐竜の日

1923年のこの日、アメリカの探検家ロイ・チャップマン・アンドリュースが、中国の北京からゴビ砂漠へ発掘調査に出発したよ。その後、世界で初めて恐竜の卵の化石を発見したんだって。

みんなの紙面

- 2面 みんなのギモンにこたえるモン
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 防災と英語 いっぺんに学ぼう

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ